

第4章 診療科別研修プログラム 選択研修

I. 形成外科 管理指導医：浅田 裕司

1. 研修目標

形成外科は、主として身体表面の機能のみならず形態を維持・改善することを目的に、外科的手技を用いて治療することを専門とする。体表面の先天奇形、外傷、腫瘍切除後の再建などを幅広く行う。日本形成外科学会の認定施設であり、専門医となるための基本手技から高度な手術まで、形成外科のほぼ全体に渡る知識や手技の習得を行うことができる。傷を綺麗に治すための基本となる創傷治癒は、形成外科の基礎となる学問であるが、これはあらゆる外科学に共通するものであり、外科系各科の診療にも必要な知識と考えられる。

2. 研修方略

研修内容

2年次の選択診療科として研修を行う。最初に、創傷の扱い方と形成外科的縫合法の習得を目指す。これらの上の段階として、形成外科専門医になるために必要な様々な皮弁などの手術を行っていく。研修スケジュールは下記のとおりである。

	朝	午前	午後	夕方
月		病棟処置／外来陪席	病棟処置	
火		病棟処置／外来陪席	手術	
水		手術	手術	
木		病棟処置／外来陪審	病棟処置／褥瘡回診	
金		病棟処置／外来陪席	手術	

3. 行動目標

(1) 経験目標

- 1) 基本的な身体診察法
 - ①創傷の状態を正しく把握する。
 - ②創傷治癒遅延因子を理解する。
 - 2) 基本的な臨床検査
 - ①単純 X 線
 - ②CT、MRI などの画像診断
 - ③動静脈の血流検査
 - 3) 基本的手技、基本的治療法
 - ①洗浄を基本とした創傷処置
 - ②創傷の状態に応じた外用剤の選択と使用
 - ③創傷の状態に応じた被覆材の選択と使用
 - ④形成外科的縫合法
 - ⑤簡単な外傷の創処置
 - 4) 医療記録
特記すべきことなし。
- (2) 経験すべき疾患・治療

5. 評価

- 1) 研修医は、ローテーション終了時に EPOC を用いて自己評価を行う。
- 2) ローテーション終了時に、指導医及び看護師長（または相当職の看護師）が、EPOC を用いて「研修医評価票 I、II、III」により研修医を評価する。